

ちょうふ環境にゆ〜す

未来へつなぐ調布の環境

発行：調布市環境部環境政策課

連絡先：電話 042-481-7086・7 (直通) FAX 042-481-7550

email kankyuu@city.chofu.lg.jp

※市ホームページでも、環境情報を提供しています(トップページ「まちづくり・環境」からご覧ください)。

2023年12月

第51号

刊行物登録番号

2023-142



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



あなたのゼロカーボンアクションを調布市が応援します

1/31 までのチャンス！ 補助金を活用してお得に LED 照明・断熱フィルム・リユース家電を導入しませんか！

市の補助金を活用してお得に省エネにつながるアイテムを購入・設置し、電気料金等を減らしながら、脱炭素の取組につなげませんか。住宅での電力消費量の約 2 割を占める照明を省エネ化する「LED 照明」、エアコンの効率をアップさせる「断熱フィルム」、「省エネ性能の高いリユース家電」の購入・設置は、化石燃料*由来の電気等の消費と温暖化の原因となる二酸化炭素の増加を抑える効果があります。

※化石燃料(天然ガス・石炭等)は、燃焼させると温室効果ガス(二酸化炭素)を増やし、地球温暖化につながります。火力発電所で発電された電気は、化石燃料を燃焼させて作られています。

申請期間(事前申請)：令和 6 年 1 月 31 日(水)まで
(消印有効、予算がなくなり次第終了)

補助金額：対象経費の 5 分の 4 (最大 10 万円)

補助金の詳細は、「調布市ゼロカーボンシティ推進補助事業」特設HPか、「省エネ・再エネ相談窓口」まで。

調布市省エネ・再エネ相談窓口

Tel 042-444-1120

「調布市ゼロカーボンシティ推進補助事業」特設HP



調布市省エネ設備等(LED照明・断熱フィルム・リユース家電)導入補助事業

LED照明等の購入・設置の補助金がもらえます

あなたの「ゼロカーボンアクション」を調布市が応援します

LED照明 断熱フィルム リユース家電

申請期間(事前申請)
令和5年11月1日から令和6年1月31日まで(消印有効)
※申請書類の受付は郵送のみ ※予算がなくなり次第終了

上限金額 対象経費の 4/5
LED照明・断熱フィルム・リユース家電の合計額で10万円以内

環境講座 2023 「自然のチカラで電気をつくろう」

ちょうふ環境市民会議と連携し、小学生を対象に風力・水力発電装置の工作体験など、再生可能エネルギーで発電を行う体験型ワークショップ「環境講座 2023 自然のチカラで電気をつくろう」を開催しました。

「風力発電装置の工作と体験」



工作の様子

令和 5 年 11 月 12 日(日)に、染地ふれあいの家で風力発電装置の工作と体験を行いました。各自作成した風車を、屋上の風で回すことで発電させました。



風力発電の様子

「水力発電装置の工作と体験 移動式えねこや*見学」

令和 5 年 11 月 19 日(日)に、佐須ふれあいの家で水力発電装置の工作と体験・移動式えねこやの見学を行いました。各自作成・ペイントした水車を、佐須用水路で回すことで発電させました。

※「移動式えねこや」とは、太陽光発電装置と蓄電池、断熱性能を備えて自然エネルギーによる暮らしを体感できるトレーラーハウスです。



水力発電の様子



移動式えねこや見学の様子

両体験型ワークショップを通じ、再生可能エネルギーをつくる様子や、地球温暖化対策の大切さを知る機会となりました。

産学官連携による環境教育プログラムの実施について

市では、ユニリーバ社（ユニリーバ・ジャパン・カスタマーマーケティング株式会社）と締結した連携協定に基づき、環境教育を進める晃華学園小学校において、ユニリーバ社が作成した資源循環型社会に関する環境教育プログラムを用いた授業を実施しています。

資源循環型社会に向けた理解をより深めてもらうことを目的として、私立晃華学園小学校4年生の児童に、ご家庭で使用したシャンプー等のプラスチック容器をきちんと回収する方法や効率よく回収する方法について、児童自ら考え実践する取組を行っています。

回収する容器は、ご家庭で使用した台所用洗剤、シャンプー等のボトルや詰替え容器で、回収後はユニリーバ社においてリサイクルし、アップサイクル品として同学校の児童にプレゼントする予定です。



ユニリーバ社による環境教育授業の様子



事業案内ポスター

都立農業高校神代農場との共同イベントを開催

市では、都立農業高校と相互連携基本協定を締結しています。この基本協定に基づき、良好な自然環境が残る市内の同校神代農場（深大寺南町 4-16-23）をはじめ、深大寺・佐須地域における農業用水路を中心とした秋の農の風景の中、11月18日（土）に約1時間半の散策・見学イベントを開催しました。

【深大寺・佐須地域の水路や田畑の説明】

地元在住の齊藤亀三様に案内・説明をしていただきました。齊藤様所有の昭和30年代に撮影された深大寺・



水路散策の様子

佐須地域の写真を用いながら、地域の遷り変わりにも触れた興味深い説明であり、ご参加いただいた方から感嘆の声が挙がっていました。

【神代農場内の水路や養殖池の説明】

農業用水路の源流部にある神代農場内の見学では、都立農業高校の穴戸先生及び同校農場部の生徒の皆様に、案内・説明をしていただきました。神代農場内では、冷たい湧水を活用し、イワナ・ニジマスの養殖、ワサビの生育に取り組んでおり、これらは都内でも貴重なものであるとの説明がありました。



神代農場内のワサビ田 説明・見学の様子

参加者からは、崖線の豊かな自然環境が残るこの場所を今後も大切にしたいとの感想が多くありました。

コラム 冬の多摩川

今年は、夏が暑くて長かった分、冬の訪れがかなり急な感じがします。しかし、野生の生き物たちにとっては、不思議と例年通りの生活リズムを保っているようです。

特に、冬の多摩川を代表するカモ類は、今年も多数の個体がすでに飛来してきており、越冬の準備を始めています。また、浅場では、コサギを始めとするシラサギ類も目立つようになり、今後は、集団で過ごしている姿を目にすることも多くなると思います。



二ヶ領堰上の水面に飛来したカモのなかま

深大寺・佐須地域の公有地を活用した環境学習

倍率 11 倍の大人気企画 !!

市では、深大寺・佐須地域で公有化した土地を、里山や農に触れ合える体験型の環境教育の場として活用しています。令和 5 年 9 月 30 日（土）毎年恒例となった稲刈り体験には、定員数を大幅に上回る約 400 名の方の応募があり、見事倍率 11 倍に当選された市民の皆様に参加していただきました。

昭和 20 年頃までの農作業を体験する「手刈り」での稲刈りを行いました。安全な稲刈りの方法について、稲刈りの時に使うノコギリガマと草刈に使うカマとの違いや、手刈りで刈り取った稲を天日干しで乾燥する作業等を学びました。



稲刈りの様子

稲刈り後は、無農薬栽培で管理している秋の田んぼに生息する多くの生物を捕まえたり、観察するなどの体感をしてもらいました。

来年度も田植え・稲刈り体験を予定していますので、お楽しみに♪

調布市環境モニター

ツキノワグマの毛皮はゴワゴワ!?

令和 5 年 7 月 1 日（土）元東京都立農業高校生物科の小川羊先生を講師に迎え、佐須農の家で「第 1 回東京の四足獣」講座を実施しました。

人の営みの変化によって、古来より行われてきた森林の利用の仕方が変わり、都市化の影響を受けたことで東京の自然環境は変化してきました。奥多摩を中心とした森林環境や動物相（特定の地域に生息する動物の種類組成）の変化について、昔の写真や絵をもとに学びました。

東京には 40 種類以上の獣（哺乳類）が生息していること、多摩川を下って移動して来るニホンジカ、多摩川の河川敷に棲むイタチ、奥多摩に生息するツキノワグマ

の不思議な行動などについて、写真や講師による現地での観察例をもとに学びました。

講座終了後、実物のツキノワグマの毛皮や頭骨などを見て触れながら、ツキノワグマに出くわした時の体験談など貴重なお話を聞くことができました。



講義後の質疑応答の様子

調布子どもエコクラブ

第 3 回 身近な毒生物

令和 5 年 7 月 8 日（土）に、染地ふれあいの家で「身近な毒生物」講座を開催しました。ダニやハチ、ヘビなど、人間の身近に生息する毒生物について、クイズなどを交えて楽しく学びました。

ダニの種類は 45,000 種も確認されているといわれ、吸血して感染症の媒介を行うものだけでなく、布団や葉の裏など身近なところに棲んでいます。スズメバチは軒下や庭の木、土の中などどこにでも巣を作り、見つけたときには攻撃したり手で払ったりせず、しゃがみながらゆっくりその場を離れるとよいそうです。海にもクラゲやフグなど、刺すもの、体内や皮膚に毒があるものが棲んでいて、レ

ジャーのときには注意が必要ということも学びました。

講義の後は、スズメバチの巣の標本やヘビ（アオダイショウ）の実物を観察したり、実際に触れてみてその感触を体験したりしました。



講義の様子



ヘビに触れてみる体験

飛田給駅前・調布駅前クリーン作戦

令和5年10月19日(木)に第5回飛田給駅前クリーン作戦、20日(金)に第12回調布駅前クリーン作戦をそれぞれ開催しました。

駅周辺の清掃活動を通して地域の交流や活性化を図ることを目的に、市民の方々や、事業者の皆様と共に清掃活動を行うことで調布のまちに愛着をより持ってもら

くことを目指して実施しています。

当日は、自治会や商店会、事業者の方や個人参加の方など、飛田給前は5団体19人、調布前は22団体193人と多くの方に御参加いただきました。

お忙しい中、ご協力いただき、誠にありがとうございました。



クリーン作戦の様子

喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーン

令和5年11月15日(水)から21日(火)まで、市内京王線9駅の各駅前にて喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーンを実施しました。

このキャンペーンは調布市受動喫煙防止条例に基づき、歩きたばこやたばこのポイ捨てに関するメッセージを広報しながら市民の方々に市内各駅周辺の清掃活動を行っていただくことで、受動喫煙防止や喫煙マナー向上の周知を図り、歩きたばこやポイ捨てのない美しいまちをつくらせていくことを目的とし、毎年開催されています。

本年も自治会や商店会、事業者の方など合計で27団体、153人も多くの方にご参加いただきました。

今回は、たばこ約4,900本を回収しており、まだまだたばこのポイ捨てが多い状況を確認しました。お忙しい中ご協力いただき、誠にありがとうございました。



喫煙マナーアップ・受動喫煙防止キャンペーンの様子

調布市地域猫セミナー&第6回ボランティア講習会

令和5年10月28日(土)に調布市地域猫セミナー&第6回ボランティア講習会を国領の市民プラザあくろすで開催しました。

第一部の地域猫セミナーでは昨年に引き続き、講師として東京都台東区台東保健所生活衛生課愛護動物管理係長で獣医師でもある高松純子氏をお招きし、地域猫活動について法律との関係も交えながらお話いただきました。

第二部のボランティア講習会では地域猫ボランティア同士による意見交換会を実施し、活動においてトラブルになりやすいことについて意見を交わしました。

お忙しい中ご参加いただき、誠にありがとうございました。

調布市地域猫セミナー&第6回ボランティア講習会

日時 令和5年10月28日(土)
午後2時~午後4時30分
(開演 午後1時30分)

会場 市民プラザあくろすホール
調布市国領2-5-15
コファース3階 研修室 京王調布駅前

第1部
講演会 殺処分削減のためには「地域猫活動」が必要
● 地域猫活動とは
● 地域猫活動の意義
● 地域猫活動の課題
● 地域猫活動の推進体制

第2部 ボランティア講習会
「地域猫ボランティアとの意見交換会」

申し込み 10月25日(金) まで
費用 1,000円
問い合わせ 調布市生活衛生課 電話 042-461-1707
Eメール 生活衛生課@city.toyohiro.lg.jp

地域猫活動とは
地域には飼い主のいない猫(野良猫)が徘徊し、住民・ボランティアの方々に迷惑を及ぼすことがあります。人畜に危害を及ぼす恐れがあるため、市民の皆様が協力して野良猫の管理をお願いします。

地域猫ボランティアとは
「見守り・餌やり・ワクチン接種・不妊・高齢者の介護」などの新しい地域猫活動を行う、または地域猫活動に携わることです。

地域猫ボランティア届出制度とは
平成30年4月から調布市では地域猫ボランティアの届出を義務付けています。届出するには地域猫ボランティアの届出書、写真、住所確認書(住所確認書)が必要です。届出書は、地域猫活動の推進に役立ちます。

調布市地域猫セミナー&第6回ボランティア講習会のチラシ